

**研究課題：**当院における単孔式腹腔鏡下鼠経ヘルニア根治術（SILPEC）の手術成績の後方視的検討

## 1. 研究の目的

小児の鼠経ヘルニアは多くの施設で腹腔鏡下鼠経ヘルニア根治術が標準術式として行われています。当科では2009年より単孔式腹腔鏡下鼠経ヘルニア根治術（SILPEC）を導入し、現在では標準術式としています。この方法は、精巣動静脈・精管の損傷リスクの低減、対側腹膜症状突起開存の確認と介入、整容性などの面でメリットがありますが、単孔による操作の難しさ、稀に術後再発などの合併症が認められているなど、課題は未だ残っていると考えられます。当科でこれまでSILPECを行った症例のカルテを調査し、その手術成績をもとに手術手技の検討を行うことにしました。

## 2. 研究の方法

2009年12月より2024年7月までに当科でSILPECを行った患者様が対象となります。

診療録、手術記録、手術映像から、性別、手術時の身長・体重、出血量、手術時間、気腹時間、手術内容、術後合併症、術後経過の情報を調べまとめます。

## 3. 研究期間

2024年9月の倫理委員会で承認されてから2027年3月まで。

## 4. 研究に用いる資料・情報の種類

2「研究の方法」に記載の通り。

## 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

## 6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者： 外科 科長 川嶋 寛

研究分担者： 外科 医長 近藤 靖浩

研究分担者： 外科 医員 筒野 喬

**7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先**

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年12月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構  
埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）